

2021年度 特定非営利活動に係る事業報告書

1 事業の成果

◆里山保全部門

*管理場所グループ

毎月第一、第三日曜日午前中に定例活動を行い、以下のように里山とその周辺の保全に努めました。新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用や3密回避に努めて定例活動を行いました。

- ・根戸城址 子供部会が主になって城址の管理を行いました。農教室カリキュラムとして落葉の堆肥化。落下した枯れ枝を拾い集積。集積した枝を結束し市の回収へ出しました。遊具の管理、倒木の処理、竹の切り倒し枝払い等。会場内管理は落ち葉の掃除、道具、機器の管理、屋根掃除。薪置場整理。無煙炭化器使用の安全面を考慮して主郭から薪置場隣接地に移設しました。
- ・ミカン山 カイガラムシの防除。剪定。除草。堆肥作り。施肥。全体の除草。倒木処理。栗拾い。収穫したミカンはおみやげ、販売等で活用しました。
- ・ハス田 畦と水中の除草。施肥。切り花募金。農教室カリキュラムとして枯れ茎の刈り取り除去しました。
- ・田んぼ 手取り雑草除去。ロータリー掛け。畦の除草。水の管理。ポンプの管理。
- ・その他 第2駐車場の拡張・整備。トンネル下の管理。宮前沼田んぼ沼側の柳の伐採等。

*個別活動グループ

1. 里山農教室部会

- ・コロナの影響がありましたが、おおむね順調に推移しました。ソバ祭り・餅つき大会は会員のみ参加としました。
- ・日直リーダー制・3年次生以上（スタッフ）の作物担当制がうまく機能しました。ユートイリティチームがフルに機能しました。
- ・定時までにはほとんどの作業を終えることができました。
- ・里山農教室の開講は平均月3回、年間29回でした。
- ・受講者は年度当初で大人部会95名、子ども部会30家族でした。

2. 特別コース部会

- ・これまで特別コースのご指導をいただいた遠藤先生が2021年10月にお亡くなりになりましたが、今後も遠藤先生の意味を継ぎ有機生態系栽培の理解を深めるため特別コースを存続することになりました。
- ・栽培報告は報告書の提出と配布のみで発表会は中止しました。
- ・11月のそば祭りに合わせて里芋の品評会をおこないました。
- ・バス研修会は今年もコロナの影響で中止になりました。

3. ハーブ部会

- ・毎月第2土曜日を作業日としました。作業日には、毎月10人前後の参加がありました。
- ・ニンニクを栽培して黒ニンニクを作り3回販売しました。
- ・11月にレモングラスの冬越し準備をして、生ハーブでお茶会をしました。ハーブを楽しむ時間が取れました。

4. 竹教室部会

- ・竹教室第4期生は、6名でスタートしましたが2年度では2名が仕事の都合で参加できなくなり4名での活動となりました。コロナの影響下での活動でしたが毎月休むことなく活動できました。

5. 養蜂部会

- ・定例会 10 回、チームリーダー会 10 回を開催し、飼育の基本技術の習得に努めました。
- ・チームリーダー制により担当巣箱の管理、リーダーのサポート体制が進展しました。
- ・トラスト会員に対し、はち蜜、蜜ろうハンドクリーム 176 ケ販売しました。
- ・登録会員数は 36 名で、みつ峰越冬群は 2 群でした。(2022 年 3 月現在)

6. 子ども部会

- ・根戸城址の枯竹の整理、落下した枯れ木を拾い集積し、無煙炭化器で燃やして炭を作りました。炭は畑と田んぼに散布しました。
- ・こども畑、こども田んぼで、もち米、カボチャ、トウモロコシ、サツマイモ、落花生、ニンジン、瓢箪、藍を育てました。
- ・作物担当を実施しました。
- ・イベントは、田植え、かかし作り、稲刈りについて企画・運営を行いました。
- ・根戸城址にて、森の整備を行いながらキャンプをしました。
- ・暗渠清掃を実施しました。
- ・修了式では、トラスト生き物マップの発表をしました。

7. そば勉強会部会

- ・年間を通してコロナ禍のため集合場所の調理室が飲食禁止となったため、今までのような活動は出来ませんでした。そば祭りに備えて「そば打ちのみ」の練習を 2 回実施しました。

◆遊休農地活用部門

*遊休農地対応グループ

1. 船戸圃場

1) ひまわり栽培

- ・5月16日播種したひまわりは、7月12日から咲き始め19日には満開となり、道行く人の多くが立ち止まって満開のひまわりを眺めたり、写真を撮ったりして景観を楽しんでいました。
- ・今年も昨年につづき「鳥害」が多く、蒔いた種を食べられたり、実った種を食べられたりしました。播種後、鳥が種を食べていたので急遽、防鳥糸を張り少しでも被害を少なくする努力をしましたが、欠株箇所が多くそこに間引き株を移植しました。

また、実った種の鳥害を少なくするため、早めに種の収穫を行いました。その結果昨年度より5割程度多い166kgの種が収穫でき、100cc瓶で492本のひまわり油が採れました。

2) 菜の花栽培

- ・今年は10月中旬から下旬の雨天日が少なかった事により、計画をしていた10月24日に播種ができました。また今年も欠株が多く、「菜の花畑散策と頭の体操」イベントで通路となる場所等の株を一株ずつ移植しました。
- ・今年の生育は思わしくなく、株も小さく背丈も低い状態でしたが、3月中旬には圃場一面黄色いジュータンとなりました。

3) 景観作物のイベント

- ・「ひまわり迷路とクイズに挑戦」はコロナ禍の状況から事業計画には載せませんでした。
- ・「菜の花畑散策と頭の体操」は3月18日～21日を計画して準備を進めましたが、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の期間が3月6日から3月21日まで延長となったため中止としました。

2. 花和下圃場

- ・当圃場は、道路脇の圃場(200㎡)とその西側の圃場(450㎡)の2か所で、景観作物としてヒマワリと菜の花を栽培しました。

当圃場は、酸性度が強いとのことで中性化のため、苦土石灰等を散布し、その後、馬糞堆肥、発酵鶏糞の散布を行いました。

・道路脇圃場のヒマワリ栽培は、生育した物もあるが不良の物もあり、ほとんどヒマワリ油が採れるような状況ではありませんでした。菜の花は生育も良く綺麗に咲き誇りました。

一方西側圃場のヒマワリは、発芽はしたものの、一部分は生育しましたが多くは生育しませんでした。菜の花についても、ほとんど生育しませんでした。

・西側圃場は、雑草もほとんど生えず、地形的に雨水が溜まりやすく、肥料なども流されている可能性があるのではないかと考えています。

・当圃場のPHを測定した結果、6程度で強酸性度ではない事が判明したので、次年度は雨水対策をした計画を策定したいと考えています。

3. 宮前沼西アート圃場

・昨年度からアート圃場が東から西へ移動しました。しかし土壌の過湿状態は東とほとんど変わらないため圃場の外周に溝を掘って排水状態の向上を試みました。

しかし、夏場は特に沼の水面が上昇するため沼への排水パイプの高さまで水面がきており、思うように排水することが出来ませんでした。

・6月の初めに、施肥、耕耘、ひまわり播種をしましたが、ほとんど発芽せずに終わりました。

・9月に撒いた石灰窒素の効果で、農薬効果、肥料効果、有機物腐熟促進効果の内、農薬効果の一部である除草効果を確認することができました。これは土中の雑草種に休眠覚醒を起こし、発芽させ、秋以降の寒気で枯死させるため、翌春に雑草がほとんど出ませんでした。

・11月に播種した菜の花は翌春、過湿状態のない乾いた部分できれいに咲きそろいました。

4. 宮前沼圃場

・5年間成果の出なかった景観植物から元の田んぼに戻して米作りに方針変更をし、1月に杉野さんにユンボを移送頂き改造作業を実施しました。2月に畦塗り機で周囲を造成し、機械の届かない箇所は手作業で畔を作成し、東側2面合計で900㎡の田んぼが完成しました。

・4月に遠藤理事長に新田んぼの施肥設計をして頂き、鶏糞や牛ふん他を散布した後に千葉県が開発した新品種苗「粒すけ」を田植えしたが、手賀沼から上陸する白鳥に半分くらい食べられたため、5月に稲の補植作業と白鳥侵入を防ぐ防鳥網を設置しました。

・9月に稲刈りを行い、30kg×14袋=420kgの収穫でした。前年度の千葉県コメ平均収穫量が、1000㎡当たり537kg(=900㎡では480kg)の農水省データと比較すると88%なるも白鳥に食べられた初年度としてはまずまずの成果でした。

5. 宮前田圃

・収量は122袋でした。(販売は33袋。)収量は初年度から140袋、120袋、130袋、118袋。

・東葛フードバンクに2袋、我孫子市フードドライブに6袋寄付しました。

・除草剤を使うだけの低農薬で栽培しました。

6. 遊農チーム (GMT65)

・農機を扱うことのできる人員が増えました。

・登録人数は60人超で、たくさんの方が作業に参加してくれました。トラスト会員以外の人も参加してくれています。

・米もヒマワリ油もいつものように現物支給できました。

***新規就農者支援グループ**

・新規就農希望者があられませんでした。

◆事務局部門

*交流事業グループ

当グループは会員相互、並びに一般市民との交流を図る目的で各種イベントを開催するとともに情報交換・情報の共有化を図る活動を展開しました。田植えから稲刈りまでの冬水田んぼでのイベントは、手賀沼流域フォーラムの助成を受けました。また、今年度は新型コロナウイルスの影響を受けながらも、密にならない工夫を凝らして飲食を伴うイベントを実施しました。コロナ禍における、新たな交流事業の在り方を模索する一年となりました。

5月の田植えには一般の会員や子供部会の家族など、大勢の参加者が集まり、147名の賑わいを見せました。しかし、早苗饗については新型コロナウイルスの影響から開催を見合わせました。

7月～8月にかけては「かかし祭り」が行われました。かかし作りには20名の外部参加者がありました。一般で6体、子供部会で7体、農教室で6体+αと今年も20体以上のかかしが冬水田んぼに整列しました。

9月の稲刈りでは、子どもから大人まで総勢147名の参加者が集まり、重労働にもかかわらず、素晴らしいチームワークで作業をこなしていました。

11月のそば祭りは、密を避けるために2日に分けて行い、子供部会で55名、大人部会で66名の参加者となりました。

12月の餅つき大会は、密を避けるために2部制にして1部を子供部会、2部を大人部会に分けました。合計で137名の参加者となりました。

そば祭り、餅つき大会ともに、コロナ禍での初めての開催となり、従来のように大勢が所狭しと肩を並べ、食べ物やアルコールに舌鼓を打つような雰囲気とまではいきませんでした。それでも工夫を重ね、2つのイベントを実施できたことは来年度につながる試みだったと思います。

2月にはトラストサロンとして、当会監事である杉野光明さんに、「手賀沼トラスト第三世代へ」と題する講演をしてもらいました。参加者は36名で、手賀沼トラスト発足の歴史や、これからの手賀沼地域の農業生産の担い手への提言に、大きな感銘を受けていました。今後の手賀沼トラストの活動指針となる、とても有意義な講演でした。

他団体との連携では、2月に消費生活展が我孫子市民プラザで行われ、当会の活動をPRしました。

*事務局グループ

・会議運営・記録、会報発行、HPの運営、名簿管理、会計業務（年度予算、月次決算、現金出納業務等）、機械管理等の基礎業務をこなしました。

・HP担当者の努力下、HP、メーリングリストが有効に機能しました。

・FBも担当者が農教室の記録を配信してくれました。

・会計担当者、会計実務者の力で会計実務がスムーズかつ適切に行われました。

・市農政課との緊密な連絡、交流をおこないました。

・遠藤織太郎理事長がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を捧げます。

・新型コロナ対策に苦慮しましたが、本会からはクラスターを発生させることはありませんでした。

◆総括報告

・年度末（2022年3月末）の正会員数は206名（前年度185名）、賛助会員2名、顧問1名、協力会員（地権者）10名、協力会員（我孫子市民）72名、あわせて291名（前年度254名）の会員となりました。メルマガ会員は190名（前年度168名）に増加しました。

・新型コロナウイルス感染防止対策として、発熱者の参加自粛、マスク着用など措置を講じながら、活動を継続しました。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
里山保全部門	管理場所グループ	根戸城址部会（定例活動）				
		・根戸城址通り清掃	毎月第1、3日曜日	根戸城址通り	4名	会員（30名）
		・樹林地管理など		根戸城址		
		花ハス部会	定例活動日、随時	ハス田	2名	会員（20名）
		ミカン山部会	定例活動日、随時	ミカン山	2名	会員（20名）
		冬水田圃部会	4月～10月	根戸新田	14名	会員・一般（180名）
	ソバ栽培部会	8月～11月	根戸新田	14名	会員（60名）	
	個別活動グループ	養蜂部会	毎月第3土曜日、随時	根戸新田	2名	会員（36名）
		竹教室	毎月第4木曜日	根戸新田	2名	会員（4名）
		里山農教室部会	毎月3回程度 土曜日	根戸新田	19名	会員（95名）
		特別コース部会	通年	根戸新田	2名	会員（10名）
		子ども部会	毎月3回程度 土曜日	根戸新田	2名	会員（30名）
		ソバ勉強会部会		けやき調理室	2名	会員（27名）
ハーブ部会	通年	根戸新田	2名	会員（21名）		
遊休農地活用部門	遊休農地対応グループ	ひまわり栽培	4月～7月	宮前沼圃場 船戸圃場 花和下圃場	4名	会員（60名）
		菜の花栽培	10月～3月	宮前沼圃場 船戸圃場 花和下圃場	4名	会員（60名）
		水稻栽培	3月～9月	宮前田圃 宮前沼田圃	4名	会員（60名）
	新規就農者支援グループ	新規就農者支援	4月～3月	根戸新田	2名	会員・一般（0名）
事務局部門	交流グループ	田植え	5月15日	根戸新田	14名	会員（147名）
		かかし作り	7月11日、8月1日	日暮会場	10名	会員（116名）・一般（20名）
		かかし祭り（コンテスト）	8月22日	根戸新田	15名	会員（121名）・一般（13名）
		稲刈り	9月26日	日暮会場	30名	会員（147名）
		トラストサロン	2月12日	けやきプラザ	5名	会員・一般（35名）
		消費生活展	2月5日～6日	アビスタ	2名	会員・一般（多数）
	事務局グループ	安全管理委員会	4月24日	けやきプラザ	2名	理事（10名）
		定例理事会（10回開催）	毎月、最終日曜日	けやきプラザ	2名	理事（10名）
		通常総会	6月6日	けやきプラザ	10名	会員（185名）
		会報編集・校正・発送	毎月1日発行	会員自宅ほか	3名	会員・一般（200名）
		ホームページ運用・管理	通年	会員自宅ほか	3名	会員・不特定多数
		フェイスブック運用・管理	通年	会員自宅ほか	2名	会員・不特定多数